

府大池の生態系

府大池の正式名称は園池(そのいけ)で、1960年代までは、周囲の水田に水を供給する狭山池の水系の一部を成していました。1972年に水利権が消滅しましたが、現在まで遊水池として残され、本学の学生・教職員やここを訪れる人たちの憩いの場となっています。



府大池では、太陽光のエネルギーでヨシやマコモ、植物プランクトンが成長・増殖。これらの植物をふり出しに「植物▶植食動物▶小型肉食動物▶中・大型肉食動物」という食物連鎖(食物網)が成立しています。排泄物や遺体などの有機残渣はユスリカの幼虫や細菌類の食物になり、その結果生じたミネラルを植物が再び利用します。

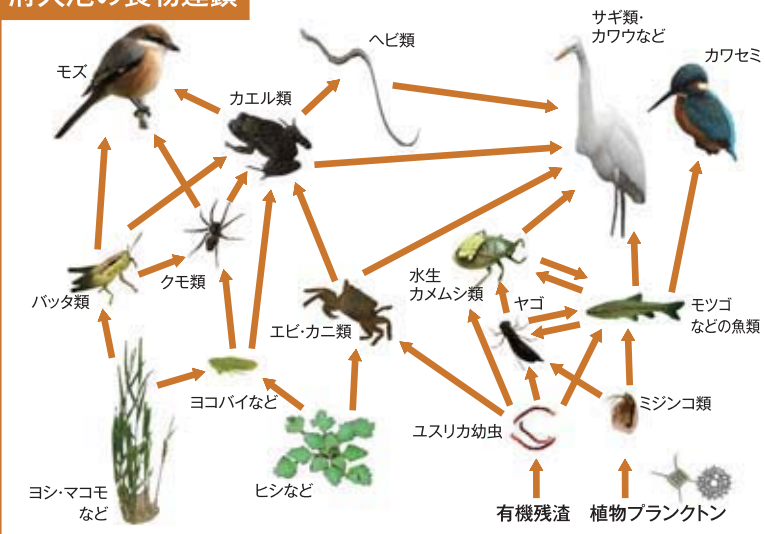


チョウトンボ

現在の府大池は、大津池、柏原池、星谷池などを水源とし、府大構内を出た水は百舌鳥川や公共下水道に流入しています。

府大池は、主として生活廃水起源の大量の栄養塩類が流入するため、富栄養化が進んでいますが、ヨシやマコモの群落があり、多様な魚類や水生昆虫などが生息するため、さまざまな水辺の鳥が訪れます。

府大池の食物連鎖



陸上生態系とのつながり

トンボ類やユスリカ類は水中で幼虫が育ち、成虫は陸上で生活します。鳥類も池の生物を食べ、陸上で糞をしたり、死んだりします。彼らは有機物を運び出すポンプのような役割を果たします。

外来生物について

本来の分布域外に人為により持ち込まれた生物を外来生物といいます。そのうち、在来の生態系や、人間の経済活動・健康などに大きな被害を及ぼすものを侵略的外来生物と呼び、「外来生物法」では「特定外来生物」に指定し、輸入や飼養、持ち運び、放流などを禁じています。

府大池にもウシガエル^{※1}やブルーギル^{※1}、アメリカザリガニ^{※2}、オオフサモ^{※1}など多くの侵略的な外来生物が侵入していますが、適宜、排除する努力を行っています。

※1:特定外来生物 ※2:要注意外来生物

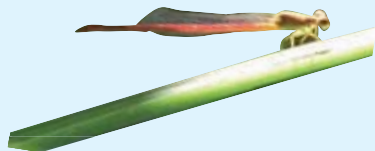
府大池の水生昆虫

府大池の生態系

Aquatic Insects

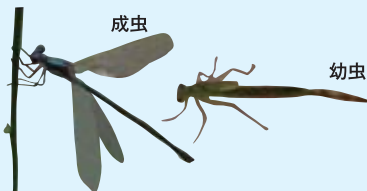
イトトンボ科 Coenagrionidae
ベニイトトンボ
Ceragrion nipponicum

- 絶滅危惧Ⅱ類(環境省)、準絶滅危惧(大阪府)
- 成虫は5~10月頃に現れる



アオイトトンボ科 Lestidae
オオアオイトトンボ
Lestes temporalis

- 成虫は8~10月頃に現れる



イトトンボ科 Coenagrionidae
アオモンイトトンボ
Cercion calamorum

- 府大池では普通に見られる

クロイトトンボ
Orthetrum triangulare

- 成虫は5~10月頃に現れる

サナエトンボ科 Gomphidae
タイワンウチワヤンマ
Ictinogomphus pertinax

- 成虫は6~10月頃に現れる



トンボ科 Libellulidae

チョウトンボ
Rhyothemis fuliginosa

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare*

- 成虫は5~9月頃に多い



ミズムシ科 Corixidae
オオミズムシ
Hesperocorixa koltzoffi

- 準絶滅危惧(環境省)
- 体長は約1cm



コオイムシ科 Belostomatidae
コオイムシ
Appasus japonicus

- 準絶滅危惧(環境省)
- 体長は約2-3cm
- オスが卵を背負って守る



アメンボ科 Gerridae
ヒメアメンボ
Gerris latiaabdominis

- 府大池では4~11月頃に普通に見られる



ヤンマ科 Aeshnidae
アオヤンマ
Aeschnophlebia longistigma

- 準絶滅危惧(大阪府)
- 成虫は5~6月頃に多い



府大池の魚類とエビ・カニ

府大池の生態系

Aquatic Animals

メダカ科 Adrianichthyidae
メダカ *Oryzias latipes*

- 環境省、大阪府絶滅危惧Ⅱ類
- 浅瀬の水面付近を群れて泳ぐ
- 動物プランクトンなどを食べる



コイ科 Cyprinidae
ギンブナ *Carassius langsdorfii*

- オスはほとんどいない
- 水底付近で有機物を食べる
- 他のフナ類との分類は難しい



コイ科 Cyprinidae
コイ *Cyprinus carpio*

- 口ひげを持つ
- 水底付近で貝類や小動物を食べる
- 体長は1m近くになるものもある



ハゼ科 Gobidae
トウヨシノボリ *Rhinogobius* sp.OR.

- ため池や河川で見られる
- 水底付近で生活する

コイ科 Cyprinidae
モツゴ *Pseudorasbora parva*

- 平野部のため池で普通に見られる
- 黒色の縦すじが特徴
- 体長は10cm未満



テナガエビ科 Palaemonidae
スジエビ *Palaemon paucidens*

- ため池や河川で見られる
- 動植物遺体などの有機物を食べる
- 外来魚の影響で減少している



イワガニ科 Grapsidae
モクスガニ *Eriocheir japonica*

- 秋に海から川へと遡上する
- 鉄脚に毛が密生する



タイワンドジョウ科 Channidae
カムルチー *Channa argus*

- 中国、朝鮮半島原産
- 要注意外来生物
- エビ、魚などを食べる



アカガエル科 Ranidae
ウシガエル *Rana catesbeiana*

- 北米原産
- 特定外来生物
- 昆虫、エビ類、小魚などを食べる



サンフィッシュ科 Centrarchidae
ブルーギル *Lepomis macrochirus*

- 北米原産
- 特定外来生物
- 昆虫、エビ、小魚などの小動物を食べる



アメリカザリガニ科 Cambaridae
アメリカザリガニ *Procambarus clarkii*

- 北米原産
- 要注意外来生物
- 雑食性



小型の鳥 Small Birds

府大池の生態系

池の周りで年中見られる小鳥は十数種、昆虫や小魚・木の実などを食べています。



メジロ科 Zosteropidae
メジロ *Zosterops japonica*



シジュウカラ科 Paridae
シジュウカラ *Parus major*

カワセミ科 Alcedinidae
カワセミ *Alcedo atthis*
●準絶滅危惧(大阪府)
●背中光沢のある青緑色
●低空飛行で小魚を探すことも



モズ科 Laniidae
モズ *Lanius bucephalus*
●はやにえで有名な種
●鋭いくちばしで小動物を捕食
●大阪府の鳥



セキレイ科 Motacillidae
ハクセキレイ *Motacilla alba*
●顔の白い面積が広い
●澄んだ声で鳴く
●都市部にも多い



キツツキ科 Picidae
コゲラ *Picoides kizuki*
●ギーという鳴き声
●木をつつく時のドラミング音が目印
●木から木へと移動する



セキレイ科 Motacillidae
セグロセキレイ *Motacilla grandis*
●顔の黒い面積が広い
●濁った声で鳴く
●水辺に多い

※お腹の黄色いキセキレイもいる

大型の鳥 Large Birds

府大池の生態系

年中見られる比較的大型の鳥たち。
フナなどの大きな魚を丸呑みするなど食物連鎖の上位に立つ。



サギ科 Ardeidae
ダイサギ *Ardea alba*
●シラサギ類で最大
●足先まで黒色
●くちばしは繁殖期に黒色



サギ科 Ardeidae
アオサギ *Ardea cinerea*
●日本で最大のサギ類
●青みがかった灰色の羽

サギ科 Ardeidae
コサギ *Egretta garzetta*
●小型のサギ
●足先が黄色
●黒いくちばし



サギ科 Ardeidae
ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*
●集団で飛来
●夜間によく活動する



ウ科 Phalacrocoracidae
カワウ *Phalacrocorax carbo*
●要注目種(大阪府)
●潜って魚を捕食
●頻りに羽を乾かす
●近くの池から飛来



カラス科 Corvidae
ハシボソガラス *Corvus corone*
●細いくちばし
●小型
●濁った声



カラス科 Corvidae
ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*
●太いくちばし
●大型
●澄んだ声
(濁った声で鳴くことも)



季節の鳥 Migratory Birds

府大池の生態系

四季折々さまざまな姿を見せる府大池
絶滅危惧種に指定された鳥が訪れる事が出来る環境です。

カモメ科 Laridae

コアシサシ *Sterna albifrons*

- 絶滅危惧II類(環境省・大阪府)
- 黒い頭と黄色いくちばし
- ダイビングで小魚を捕食



ヒタキ科 Sylviidae

オオヨシキリ

Acrocephalus orientalis

- 準絶滅危惧(大阪府)
- 樹上やヨシ原でさえずる
- 大きな声が特徴的



夏鳥

ヒタキ科 Motacillidae

ツグミ *Motacilla alba*

- 学内でよく見られる冬鳥
- 樹上や芝の上に多い



ヒタキ科 Motacillidae

ジョウビタキ *Motacilla alba*

- 尾は赤く、羽に白い紋
- 地表の昆虫を捕食
(写真は雌個体)



冬鳥

他にも夏鳥はツバメやコサメビタキ、冬鳥はシロハラやカモ類などが飛来

カモ類など Wild Ducks, etc.

府大池の生態系

冬になると府大池には多くのカモが訪れる。渡りの途中で立ち寄るだけの種や、府大池で越冬する種など目的はさまざま。近くの古墳に行くと違う種も見ることが出来る。

カモ科 Anatidae

マガモ *Anas platyrhynchos*



- 頭が緑でくちばしは黄色
- 胸が茶色
- 真の鴨すなわちマガモ

カモ科 Anatidae

コガモ *Anas crecca*



- 小型のカモ
- おしりが黄色
- 頭は赤茶で、緑のライン

カモ科 Anatidae

カルガモ *Anas poecilorhyncha*



- くちばしは黒、先だけ黄色
- 目元のラインが特徴
- 雌雄で模様が同じ

カモ科 Anatidae

ハシビロガモ *Anas clypeata*



- 頭が緑でくちばしは黒
- おなか茶色で胸は白
- くちばしが大きい

少数派

カモ科 Anatidae

キンクロハジロ

Aythya fuligula

府大池では珍しい潜水ガモ



カモ科 Anatidae

ヒドリガモ

Anas penelope

白鷺公園に多い



クイナ科 Rallidae

バン *Gallinula chloropus*



- 黒い体に赤い額
- くちばしの先が黄色
- ヨシの中に巣を作る

カイツブリ科 Podicipedidae

カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*



- 潜って小魚等を捕食
- 水草等で浮き巣を作る
- 冬羽は地味な褐色

カモ類ではないが、
府大池で繁殖を行う種